

65歳未満で認知症を
発症した場合は
「若年性認知症」と言います。

働き盛りの世代に起こる認知症は、
本人だけでなく家族の生活や社会に
与える影響も大きく経済的な問題や
介護の負担が問題になる傾向にあり
ます。

物忘れが多くなり
仕事のミスが増えてきた...

母が得意だった料理を作りがらず
時間がかかるようになった...

約束したことを忘れる
言われても全く覚えていない...

若年性認知症と診断されたが
今後どうしたらいいのか分からない...

など...

こんな疑問や不安をお持ちの方、
ひとりで悩まずに
若年性認知症支援コーディネーターに
ご相談ください。

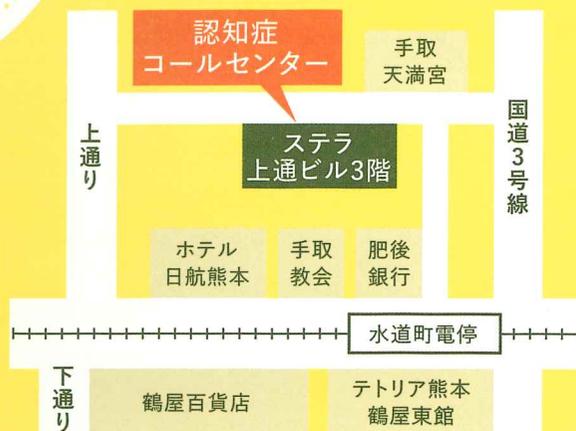
若年性認知症とは？

熊本県認知症コールセンター

096-355-1755
さーここ いいなここ

相談受付日：週6日、土日祝日も開設(水曜日・年末年始休み)
受付時間：午前9時～午後6時まで

相談は無料。お気軽にご相談ください。(通話料はかかります)



- 住所／〒860-0845 熊本市中心区上通町3-15
ステラ上通ビル3階
- E-mail／nintisho@oasis.ocn.ne.jp

若年性認知症支援コーディネーターは
『公益社団法人認知症の人と家族の会 熊本県支部』
に属し、熊本県・熊本市から
委託を受け、活動しています。

若年性 認知症

ひとりで悩んで
いませんか？



熊本県認知症コールセンター

公益社団法人 認知症の人と家族の会 熊本県支部

公益社団法人
認知症の人と家族の会 熊本県支部

こんなお悩みありませんか？

まずはご相談ください。

Case1 ご本人・ご家族のお悩み

- ☑ 自分は認知症ではないかと不安に思っている
- ☑ どのような医療機関を受診したらよいか分からない
- ☑ 若年性認知症と診断を受けたが、今後どうしたらよいか分からない
- ☑ 今の会社で働き続けたいが、どうしたらよいか分からない
- ☑ 経済的に不安がある
- ☑ 同じ悩みを持つ人の話を聞いてみたい



Case2 職場・企業の方のお悩み

- ☑ 段取りや会議の日時を忘れ仕事上のミスが目立っている
- ☑ 物忘れ外来の受診を勧めているが、本人が拒否している
- ☑ 社員が若年性認知症の診断を受けたが、どう支援したらよいか分からない



Case3 医療・福祉関係者の方のお悩み

- ☑ 若年性認知症の方の支援の経験がなく、方法が分からない
- ☑ 地域で利用できるサービス(社会資源)の情報が見つからない



早期発見・早期対応が大切です

まずはお気軽に
ご相談ください

若年性認知症
支援コーディネーターは
こんな活動をしています

- 01 医療機関との連携について**
必要に応じ受診同行等しながら、主治医とも連携を図り支援します。また、認知症サポート医などの情報を提供します。
- 02 社会保証(経済的な援助)の手続きについて**
医療費助成や障害年金など各種社会保障の情報提供だけでなく、手続きに関する助言や、各窓口への問い合わせや同行支援などを行います。
- 03 社会参加に関わる支援**
若年性認知症の方のつどい等へ一緒に参加します。若年性認知症の方の社会参加の場の創出に関して相談に応じています。
- 04 本人や家族の不安に対応**
本人の不安な気持ちに寄り添い、一緒に考え、症状や行動に対して助言します。家族の介護負担、不安に対する相談をお受けします。
- 05 就労支援**
就労を継続できるよう、会社との面談に同席したり、社員向けに認知症に関する研修を実施します。再就職に向けて、相談機関の紹介や相談に同席します。